

BOP Business Profile

国・地域： セネガル ンブール県

企業： ヤマハ発動機株式会社
 小型エンジン技術、FRP（繊維強化プラスチック）加工技術、制御技術をコア技術とし、二輪車、ボート・船外機等のマリン、スノーモビルや発電機等の特機、産業用ロボット、電動アシスト自転車、自動車用エンジン等を200以上の国・地域に販売する。

ビジネス概要： 漁業の近代化による零細漁民の安全性と収入の向上をめざす、FRP船の現地製造と販売。



現地が抱える開発課題

セネガルは、人口の17%が漁業に従事するアフリカ有数の水産国であるが、その大半が零細漁民で、木造船による漁業を行っている。そのため、**操業中の事故が多いことに加え、漁獲物の鮮度維持が困難なことによる販売価格の低いこと**が課題となっている。また同国には、**漁業近代化に必要なFRP船製造産業もない。**



企業が有するソリューション

FRP船の製造技術・工場運営について40年以上の経験を持つ。各国の仕様に適合させるため、**33か国の工場に技術を移転し、累計65,000隻を製造。**セネガルでは船外機のシェアが**90%を超え**、FRP船での操業に合わせた船外機の提供やアフターサービスの対応が可能である。

ビジネスを通じた課題解決アプローチ



木造船で漁を行う零細漁民に対してFRP船を販売することで、**操業の安全性を向上させるとともに、水揚げまでの漁獲物の衛生管理を通じて魚価の向上につなげ、漁民の所得向上に貢献する。**魚価の向上は、水揚げ後から出荷までのバリューチェーンを通じた改善が必要であるため、JICAが実施中の技術協力プロジェクト（PROCOVAL）※と連携し、「**少なく獲って高く売る**」資源保護と収入増を両立させた漁業の近代化をめざす。

※セネガルにおける「バリューチェーン開発による水産資源共同管理促進計画策定プロジェクト」。日本の資源・品質管理の経験や知見を生かし、持続的な資源保持と海外市場への輸出量増加をめざす取り組み。